

MISA SHIN GALLERY

3-9-11-1F, Minamiazabu, Minato-ku, Tokyo 106-0047 JAPAN

tel:+81-(0)3-6450-2334 fax:+81-(0)3-6450-2335

www.misashin.com info@misashin.com

プレスリリース

2018年9月

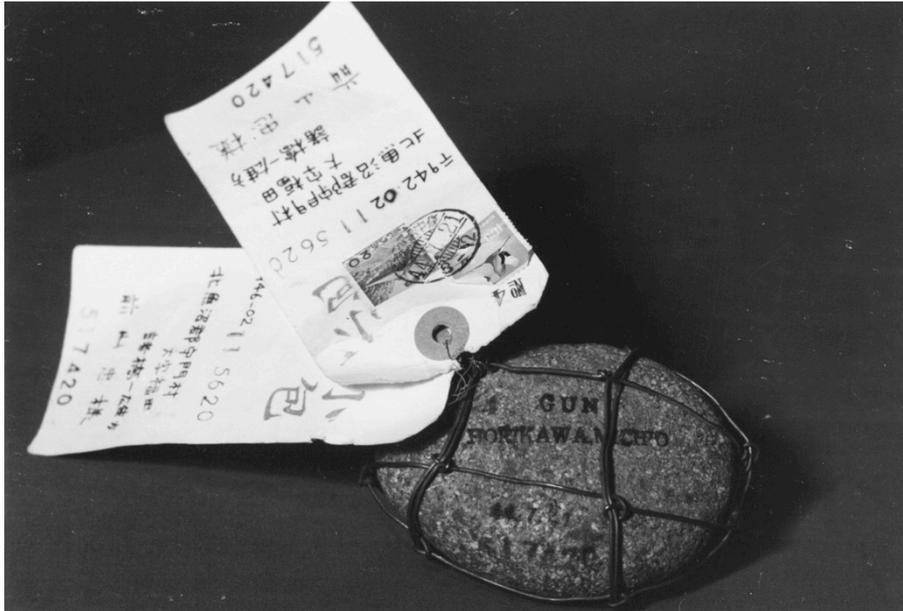
堀川 紀夫

Not a Stone's Throw

会期：2018年9月28日（金）－11月10日（土）

オープニングレセプション：2018年9月28日（金）18:00-20:00

開廊時間：火-土（日月祝休）12:00－19:00



Horikawa Michio
*The Shinano River
Plan 11*
(Documentary
photograph of
stone received by
Maeyama Tadashi)
1969, Photograph,
8.3 x 12.2 cm (3.3 x
4.8 inch)

MISA SHIN GALLERY では2018年9月28日（金）から11月10日（土）まで、新しいスペースでの第一回目の展覧会として、堀川紀夫の個展「Not a Stone's Throw」を開催します。

1946年新潟県中頸城郡（現・上越市）に生まれた堀川紀夫は、1967年、前山忠、市橋哲夫らをリーダーとする現代美術グループ「新潟現代美術家集団 GUN (Group Ultra Niigata)」の結成に参加。GUNの主要メンバーとしてまた堀川個人としても、新潟県内を拠点にパフォーマンスや制作活動を行ってきました。

1969年7月21日、アポロ11号の月面着陸および月の石の採取に着想を得て、当時新潟県十日町に住んでいた堀川は「地球の石」を郵便で送る作品を制作します。月面着陸当日の同時刻に信濃川の川べりから採取された石は、11号にちなんで11個の石が選ばれ、中原佑介、松澤宥、高松次郎ら美術関係者11人に郵送されました。

1960年代に広く世界中で使われるようになったメールアートという方法を踏襲し、堀川はこの後も、番外編も含めてアポロ12号、13号、17号（1972年）にちなんで石のメールアートを続けます。また反戦の意思表示として1969年にクリスマスプレゼントとしてニクソン大統領、1970年に佐藤栄作首相にも石を送っています。

堀川の石のメールアートは、もの派に代表される石とは対照的に、個人の枠を超えて、歴史や社会をとりこんだコンセプチュアリズムの石として、外界へと雄弁に回路を開いていきます。

MISA SHIN GALLERY

3-9-11-1F, Minamiazabu, Minato-ku, Tokyo 106-0047 JAPAN

tel:+81-(0)3-6450-2334 fax:+81-(0)3-6450-2335

www.misashin.com info@misashin.com

メンバーがそれぞれに活動を展開するなか、GUN としては集団で「雪に大きな絵を描く」という夢がありました。60年代の前衛芸術家たちのドキュメントを手掛けていた写真家、羽永光利との接触によって具体化がすすみ、急速に実現に向けて動き出すこととなりました。

1970年2月、十日町を流れる信濃川の河川敷の大雪原を舞台に、農業用の噴霧器で赤、青、黄、緑の四色の顔料を撒き散らしながら描いた巨大な抽象画「雪のイメージを変えるイベント」は、半裸の堀川が赤い顔料の噴霧器を背負い雪に挑んでいる姿とともに羽永、磯俊一によって撮影されました。

GUNの活動は新潟という地方を拠点としながら、1960年代後半から1970年代前半にかけて、ランドアートやコンセプチュアルアート、ポリティカルアートなど、世界的な美術の潮流と同調していました。

しかし、ウォルター・デ・マリアなどのアメリカのランドアートが、過熱した商業主義への批判として遠隔の地に崇高を求め、自然に向かったのに対し、現代美術市場が萌芽状態であった日本において、河川敷は、美術館などの「制度外」の選択肢の一つとして機能していました。降り続ける雪のため30分と存在しなかった雪原上の絵画は、日本を代表するランドアートの一つに数えられるでしょう。

本展覧会では、堀川の主要作品である石のメールアートを紹介するとともに、それに関わるデータ（送付先や重量、郵便局の領収書など）を公開します。またGUNの「雪のイメージを変えるイベント」のポートフォリオや、イベントで使い残した顔料から堀川が制作したピグメントの彫刻なども展示されます。

東京や世界の中心に石を投げただけでは届かない距離が横たわる新潟の地において、堀川の石は軽やかにその距離を超えていきます。

新しいスペースに移転後のMISA SHIN GALLERYで、初の個展となる、堀川紀夫「Not a Stone's Throw」を是非ご高覧ください。

堀川 紀夫

1946年新潟県中頸城郡（現・上越市）に生まれ。1967年、前山忠、市橋哲夫らをリーダーとする現代美術グループ「新潟現代美術家集団 GUN (Group Ultra Niigata)」の結成に参加。主な展覧会に「Century City」テート・モダン（ロンドン 2001年）、「Art, Anti-Art, Non-Art: Experimentations in the Public Sphere in Postwar Japan, 1950-1970」Getty Center, Research Institute Exhibition Gallery（ロサンジェルス 2007年）、「越後妻有アートトリエンナーレ」（新潟 2000年〜）など。2019年3月ニューヨークのJapan Societyで開催される「荒野のラジカリズム グローバル 60年代の日本の現代美術家たち」に参加予定。



GUN Event to Change the Image of Snow
(Documentary Photograph of performance art), 1970/2009, Inkjet print, 44.3 x 29.3 cm (17.4 x 11.5 inch) © Hanaga Mitsutoshi